

2カメラ同時録画 バイク用ドライブレコーダー 【取扱説明書】

DVR-B003

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の他は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。
- 記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。本製品で記録した映像やデータの内容、それらを起因とした事項については、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は事故の証拠としての効力およびナンバーや車種、色などの特定を保証するものではありません。
- 本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。また、本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用によって映像およびデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも弊社や販売店は一切の責任を負いません。

本書における注意事項の定義

本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。各々の定義（意味）を十分に理解されたうえで、お取り扱いください。



誤った取り扱いをすると、死亡や重症などを負う可能性が想定されるもの



誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性、または物理的損害が発生する可能性が想定されるもの



誤った取り扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの



取り扱いにおいて知っていると有益な情報

安全上お守りいただきたいこと



破損や故障など、異常な状態のまま使用しないでください。発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。



走行前に取付状態を確認してください。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。



動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないでください。ケガや事故の原因となります。



病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。ペースメーカーや医療用電気機器などの誤作動の原因となる恐れがあります。




録画映像を再生したまま運転をしないでください。




電源コードや各端子部のホコリや汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良などによる感電や火災の原因となります。


安全上お守りいただきたいこと2


 長時間使用しない場合は電源ケーブルをドライブレコーダー本体から外してください。車両バッテリーの放電や火災が起こる恐れがあります。また、長期間にわたって本製品を密閉された空間、炎天下、高温の環境に放置すると火災や故障の原因となります。


 本製品の防塵、防水仕様は IP65 です。水中に沈める、水没させるなどの行為は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。


 本製品内に結露が生じた場合は使用しないでください。低温の場所から高温の場所に移動した際に結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。

 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。


 磁石などの磁気をおびたものを本製品の近くに置かないでください。故障やデータ破損の原因となります。


 本製品の穴や隙間にピンや針金などの金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。


 分解や修理、改造は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。


 運転中は走行中に操作及び画面の注視をしないでください。法律で禁止されている行為であり、また事故の原因となりますので絶対に行わないでください。

取付時に注意していただきたいこと

 運転の操作を妨げる場所には取付や配線を行わないでください。操作不良による事故やケガをする場合があります。


 取り付ける前に、配線位置を確認して、本機の操作が行える位置かどうかをご確認ください。

 取付は、本書に従って正しく行ってください。誤った取付は事故の原因となります。

 車検証ステッカーなどに重ならないように取り付けてください。

ETC 車載機など、他の電子製品と電波干渉する場合があります。


電波干渉した場合は配線・GPS などの機器・アンテナ等の位置を変更し


 ていただくか、市販のフェライトコア等のノイズ軽減アイテムで電波干渉の軽減を行ってください。なお、ノイズ対策を施しても確実にノイズを防止できるものではありませんので、予めご了承ください。


 カメラを接続してから電源をオンにしてください。電源をオンにした後にバックカメラを接続しても、認識されないことがあります。


 本製品は外部給電以外で動作させることはできません。


カメラについて注意していただきたいこと


 バックカメラの取付位置によっては、バックカメラ表示時、後続車両のライト（直接光・反射光）がまぶしく見える場合があります。


 直射日光のあたる場所に放置しないでください。変形および火災の原因となります。


 長時間の使用によってカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。


 カメラ本体の端子を手で触らないでください。故障の原因となります。


 清掃の際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないでください。

 レンズに直接日光を長時間当てないでください。故障の原因となります。




 レンズ表面に泥や砂、指紋などの汚れが付着したときは、クリーニングクロスや繊維くすの出ない乾いたきれいな布で拭き取ってください。

 急な明るさの変化、強い逆光状態、夜間撮影時に光源が無いなどの条件下では、録画画質が落ちることがあります。


 明るい場所から暗い所へ移動した場合（トンネル等）、大きな明暗差でノイズが発生する場合がありますが、これは感度調整によるもので、故障ではありません。


 LED方式の信号機（60Hz）では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。


夜間等の暗い所では、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。


-  ●映像の色と実際の色が異なって見える。
-  ●後続車のライトの高さ等によっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える。
-  ●映像を自動的に調整することにより、特有のチラツキが発生する。


録画について注意していただきたいこと


 記録した映像やデータを違法な目的で使用しないでください。

 録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。また、急激な明るさの変化や逆光、夜間などは画質が低下することがあります。


 レンズ表面や車両ガラス表面はいつもきれいにしておいてください。ホコリや異物による乱反射や屈折により、映像が乱れる恐れがあります。


 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトを点灯してください。


 夜間に録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、これは感度調整によるもので、故障ではありません。


 バックカメラ取付位置によっては、夜間時に対象が上手く撮影できない可能性があります。角度や位置を調整し、実際に何度か撮影して写りを確認してください。


SDカードについて注意していただきたいこと


 長時間の使用により SD カードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。


 油が付いた手や濡れた手で SD カードを触らないでください。損傷、誤作動、故障の原因となります。

 データのバックアップ、フォーマット、システムリセットおよび動作中は、絶対に SD カードを取り出さないでください。データや SD カードが損傷し、使用できなくなる恐れがあります。

 SD カードを落としたり強い衝撃を与えないでください。破損およびデータが損失する恐れがあります。

 スロット内に異物を入れたり、端子部分を手で触らないでください。破損、誤作動、故障の原因となります。

 SD カードを挿入するときは、必ず正しい向きで差し込んでください。浅い差し込みや無理な挿入は SD カードを破損させる原因となります。

 SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤作動を起こす場合があります。

以下の場合、SDカードをフォーマットしてください

- 新規のカードを使うとき
- ほかのカメラやパソコンなどでフォーマットしたカードを使うとき
- 書き込み／読み取り速度が遅くなったと感じたとき
- カード内のデータをすべて消去したいとき

付属品について



カメラ×2
(フロント・バック共用)



本体×1



カメラマウント×2



カメラマウント
ネジ×4



GPS×1



スイッチケーブル×1



カメラマウント固定両面テープ×2(穴あき)
スイッチ固定両面テープ×1(穴無し)



結束バンド×6



カメラマウント
工具×1

予備カメラマウント



カメラマウント固定
両面テープ×1



予備カメラマウント
ネジセット×1



予備カメラマウント×1



カメラ延長ケーブル
×2

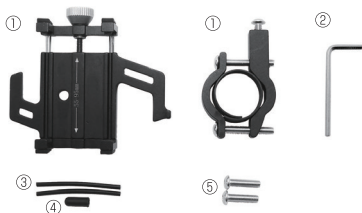


電源ケーブル
(USB)×1



電源ケーブル
(バッテリー接続)×1

本体マウント関連



- ①ハンドルホルダー(本体・ハンドル固定)×1 ②工具×1
③滑り止めゴム×2 ④防水ゴム×1 ⑤換えネジ×2

お手元に届いたら

お取り付けまでにセット内容が不足していないか
ご確認ください。

不足品がございましたら、弊社サポートセンターま
でお問い合わせください。

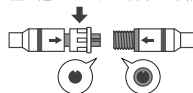
また、改良のため予告なく製品仕様が変更される
ことがあります。予めご了承ください。

取り付けについて

接続図

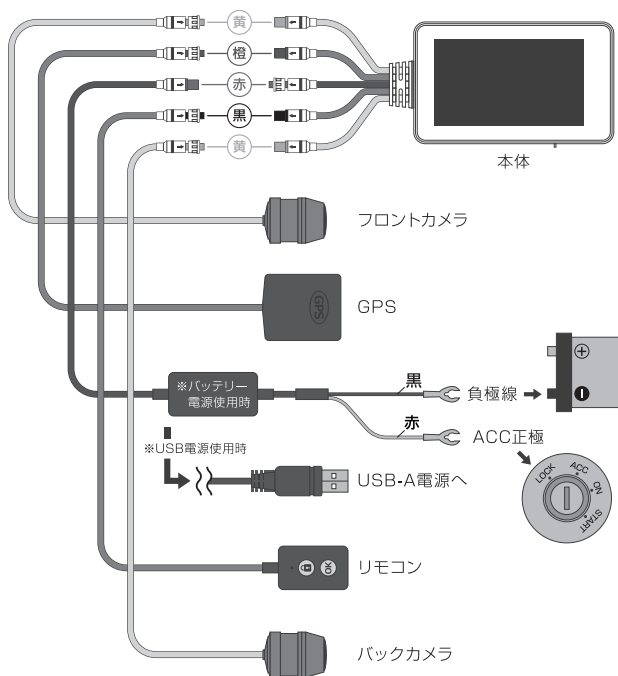
本体とカメラ等の接続は、下図のようにコネクタの色を合わせて接続するだけで完了します。コネクタ同士は矢印を合わせて差し込み、ネジを回して固定します。

差し込んだらネジを回して固定

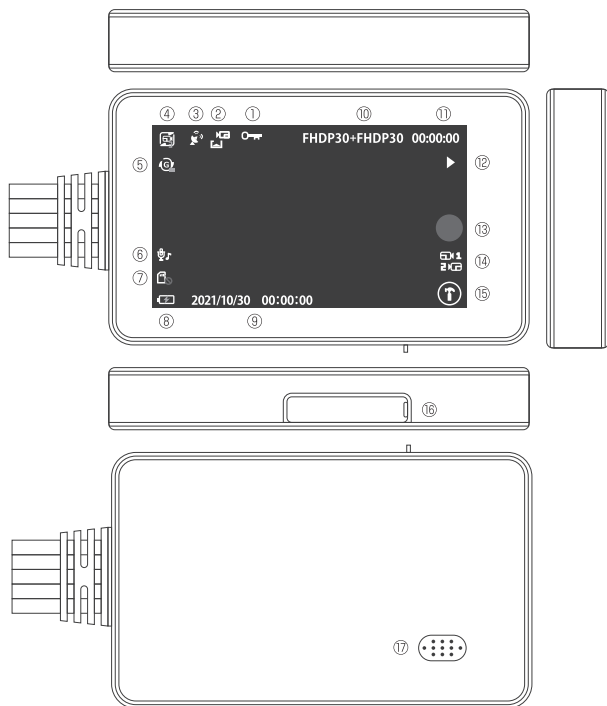


注意

- 無理な接続は、コネクタの破損や故障の原因となります。
- バイクへの取り付けは専門業者のご利用をおすすめしています。



各部名称と画面表示について



- ①録画ファイルロック表示 ②写真撮影表示 ③GPS表示 ④ループ録画表示
⑤Gセンサー表示 ⑥音声録画表示 ⑦SDカード表示 ⑧給電表示 ⑨撮影日時表示
⑩録画サイズ表示 ⑪録画時間表示 ⑫再生ボタン ⑬録画ボタン ⑭表示カメラ切替
⑮設定ボタン ⑯SDカードスロット ⑰スピーカー

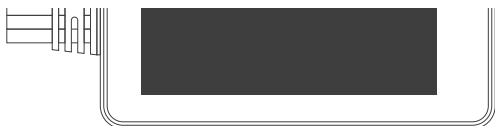
※機能についての詳細は対応したページを参照してください。

※①録画ファイルロック表示、②写真撮影表示は使用時のみの表示となります。

SDカードの挿入

本体下部のSDカードスロットに、microSDカードをセットすることで録画機能が使用できます。セット時は向きに注意してカチッと音がするまで差し込んでください。無理な挿入は破損の原因となります。

※SDカードを購入される際は256GBまでのClass10の物を推奨しております。メーカー品をお勧めしておりますが、製品によっては対応できない場合があります。



端子面が画面側を向くように挿入してください。

※挿入後はフタを閉めてください。

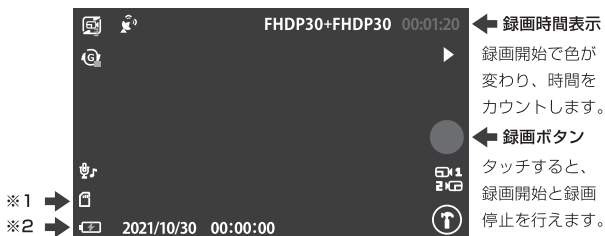


ご注意:SDカードはホットプラグには対応しておらず、電源を切ったときにカードを挿入するか、取り出す必要がある。電源を接続したままSDカードを差し込んだり抜いたりすると、カメラが再起動してしまいます。


録画方法

バッテリーとの接続であれば、エンジン始動で録画を開始します。

また、USB給電の場合も通電によって録画を開始します。

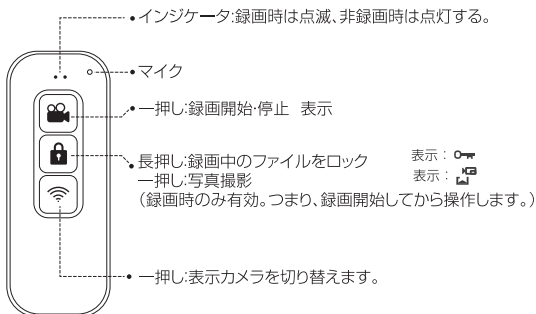


※1: SDカードが挿入されていない場合は  のように表示されます。

※2:  こちらは充電マークではありません。給電中を表しています。

リモコンの操作

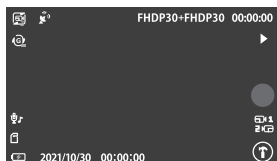
付属のリモコンを接続することで、手元の操作ができるようになります。手元操作では通常録画だけでなく、録画ファイルをロックしたり、写真を撮影することができます。



注意:リモコンを取り付けない場合、音声の録画ができません。
録画ファイルをロックしたり、写真を撮影することができます。

表示カメラの変更

画面表示上の をタッチすることで表示カメラを切り替えることができます。



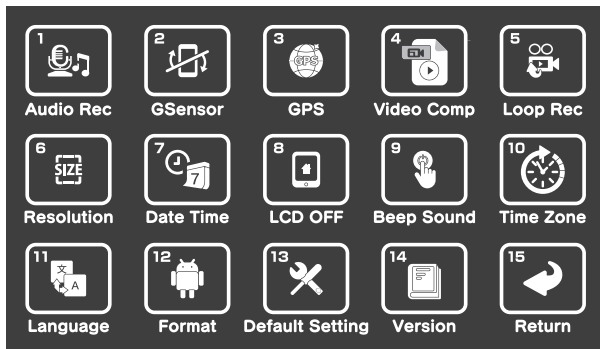
タッチするたびに表示カメラが切り替わっていきます。



各種設定



録画画面で設定ボタンを押した際に表示される項目です。



1.Audio Rec

(音声録画設定)
オフ/オン



2.GSensor

(Gセンサー感度設定)
オフ/低/中/高



3.GPS

(GPS設定)
オフ/オン



4.Video Comp

(ビデオ合成設定)
オフ/オン
※詳細はP.16



5.Loop Rec

(ループ録画設定)
オフ/1分/3分/5分



6.Resolution

(録画解像度)
FHDP30+FHDP30
※変更できません。



7.Date Time

(日付設定)
年/月/日/時/分



8.LCD OFF

(画面オフ設定)
1分/3分/5分/10分



9.Beep Sound

(電子音設定)
オフ/オン



10.Time Zone

(標準時区分)
※日本設定
GMT+09:00



11.Language

(表示言語設定)
各種言語が選べま
す。



12.Format

(フォーマット)
SDカードのフォー
マットを行います。



13.Default Setting

(デフォルトメニュー)
メニュー設定をデ
フォルトに戻します。



14.Version

(バージョン情報)
本体情報の表示を
行います。



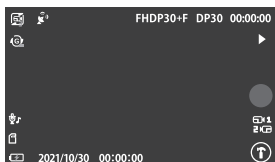
15.Return

(戻る)
設定画面を終了し
ます。



本体での再生

画面表示上の ▶ をタッチすると本体画面上で録画ファイルを確認することができます。



◀ 再生ボタン

タッチすると再生画面に切り替わります。

※録画中は使用できません。

再生画面



- ①動画ファイルマーク / 録画画面に戻る ②写真ファイルマーク / 録画画面に戻る
③ファイル情報 ④ファイル設定 ⑤削除 ⑥ファイルリスト ⑦次のデータへ
⑧ファイル名 ⑨ファイルサイズ ⑩撮影日 ⑪撮影時間 ⑫再生ストレージ表示
⑬再生ボタン

※ファイル設定、ファイルリストについての詳細は対応したページを参照してください。

ファイル設定



再生画面で設定ボタンを押した際に表示される項目です。



Protect



Volume



Delete All



Lock All



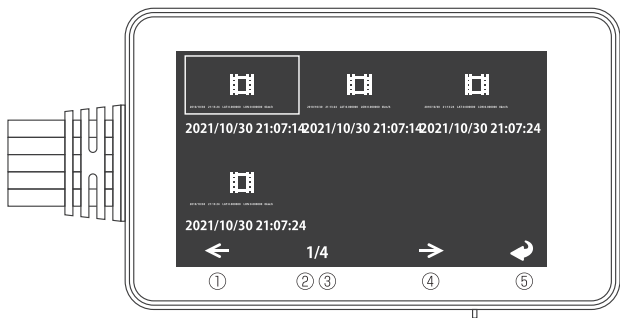
Unlock All



Return


1. 再生画面表示中ファイルのロック
2. 再生音声の調整 (0 ~ 10)
3. すべての録画ファイルを消去
4. 全ての録画ファイルをロック
5. すべてのロックファイルを解除
6. 再生画面に戻る

ファイルリスト画面



- ①前のファイルページへ
- ②選択ファイルの順番
- ③全録画ファイル数
- ④次のファイルページへ
- ⑤再生画面へ戻る

合成ファイルの再生

各種設定の  Video Comp (ビデオ合成設定) をオンにすることで、オンにした後の撮影データからフロントとバックのデータが1つにまとめられます。再生すると画面上にフロントとバックのデータが一緒に再生されます。* 1 ループ (ループ録画設定による) 毎に合成されます。

製品仕様

本体サイズ	約 115×70×17mm
本体重量	約 208 g
バックアップ電源	スーパーキャパシタ
記録媒体	microSD カード 8 ~ 256GB(class 10 以上)
定格電圧	入力 12V ~ 30V、出力 5V
動作環境温度	-20℃ ~ 50℃
液晶サイズ	4 インチ (タッチディスプレイ)
カメラ性能	1080P 200 万画素
映像ファイル形式	TS
材質	ABS+ ステンレス
防塵・防水	IP65
その他機能	リモコン、GPS

※SD カードを購入される際は 256GB までの Class 10 の物を推奨しております。メーカー品をお勧めしておりますが、製品によっては対応できない場合があります。

故障かなと思ったら

使用時に動作がおかしい時は、まずこちらの操作をお試しください。

異常	原因	解決法
起動しない	電源ケーブルの破損 バッテリーの破損 接続不良	電源ケーブル(USB/バッテリー接続)が故障していないかチェックし、故障していない場合は本体との接続をご確認ください。
	電圧不足	エンジン起動後、しばらく走行することでバッテリー電圧が上がります。この電圧の改善によって本体は起動します。走行しても起動しない場合は、お車の電圧をご確認ください。
SDカードが認識されない	microSDカードの破損	推奨microSDカード 8~256GB (Class10以上) に交換する。
	互換性の無い microSDカード	
	microSDカードの速度が遅い	
再生時に音が鳴らない	音量設定が0になっている	設定から音量を調整する。
	リモコンが接続されていない。または録音設定がオフになっている	リモコンを接続する。設定から録音をONにする。 ※次の録画データから音声録音されます。
動画が保存されない	microSDカードが挿入されていない	microSDカードを挿入する。
	録画のファイルでいっぱいになっている	unnecessary ファイルを削除する。 または、microSDカードをフォーマットする。 (すべてのデータは削除されます。)
	microSDカードの破損	推奨microSDカード 8~256GB (Class10以上) に交換する。
動画が再生できない	パソコンで編集された動画のため再生できない	本体での再生可能データは本体で撮影された編集無しのデータのみとなっています。
バック録画に対してフロント録画が暗く感じる	カメラ角度	カメラの角度が上を向きすぎると、光が多くあたるため画質に差がでます。カメラ角度を地面に対して水平になるよう調整してください。
改善されない症状	不良・故障の可能性	ご購入されました店舗様へお問合せください。

MAXWIN